

# 「自然体験活動指導者《NEAL リーダー》養成研修（法人ボランティア養成研修）」報告

令和元年9月14日（土）～9月16日（月・祝）



## 【目的・趣旨／概要】

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を養成する。また、全国の国立青少年教育施設で子供たちの体験活動を支援する「法人ボランティア」として必要な知識も併せて学習する。

## 【連携先】

### ・講師

青木康太郎氏（國學院大學人間開発学部 准教授）	「自然体験活動の安全管理」
小西歩美氏（日光国立公園 那須平成の森フィールドセンター インタープリター）	「自然体験活動の特質」
齋藤大介氏（NPO 法人みんなのひろば 理事長）	「対象者理解」
真山高士氏（NPO 法人那須高原自然学校 事務局長）	「自然体験活動の指導」
丸子哲平氏（日光国立公園 那須平成の森フィールドセンター インタープリター）	「自然体験活動の特質」

## 【募集対象／実績】

《募集対象》18歳以上 30名程度

《実績》申込み 19名 参加 18名

## 【プログラム概要】

「自然体験活動指導者」「法人ボランティア」それぞれの養成カリキュラムに則り、研修を実施した。

各科目の講師は、現場の最前線で活躍し経験豊富な実践者・研究者に依頼し、より参加者のニーズに即した講義となった。また、一部の科目では那須甲子のフィールドならではの自然を生かし、実習が行われた。

自然体験活動指導者科目：

「ガイダンス」「青少年教育における体験活動」「自然体験活動の特質」「自然体験活動の指導」「対象者理解」「自然体験活動の安全管理」「自然体験活動の技術」「認定試験」

法人ボランティア養成科目：

「青少年教育」「青少年教育施設におけるボランティア活動」「安全管理」「ボランティア活動の技術」「青少年教育施設の現状と運営」「ボランティア活動の意義」

本研修修了者には、『自然体験活動指導者（NEAL リーダー）修了証』並びに『ボランティア養成研修修了証』が交付された。



## 【成果】

- ・様々な経歴を持った参加者が集まり意見交換することで、各科目の達成度が上昇した。
- ・班での行動やグループワークに重点を置くことで、参加者間のコミュニケーションがより深まり、個人の学習だけにとどまらず、全体での一体感が生まれた。
- ・全員が自然体験活動指導者認定試験に合格し修了証が授与された。
- ・履修選択であった法人ボランティアのカリキュラムも参加者全員が受講（本施設職員の参加者は除く）し、当機構法人ボランティアとして登録していただくことができた。
- ・各科目の講師として、福島県・栃木県を中心とした近隣の関係機関と連携し、構成することができた。

### 《参加者の声》

「実際にやってみたり、本業の人と一緒に考えたりすることができよかった」「時間の無駄がなかった」「子供目線での物事の考え方をよく知ることができた」「新しい学び（発見・気づき）がたくさんありました」「みんな親切でアットホームであった」「講師の体験談が強く心に残った」「ワークショップでいろいろな意見が聞けてよかった」「すき焼きハイクが面白かった」「キャンプファイヤーでは初めてやるゲームが多くあり良かった」「自然を違った見方で散策する視点が発見できた」「安全管理の理解が深まった」「火おこしなど野外活動がもっとあってもよかった」等

## 【課題と方策】

- ・大学の夏期休暇期間であり、また、法人ボランティアが最も必要になる事業前であったが、期待したほどの大学生年代の参加を得ることはできなかった。一方で、他施設の法人ボランティアを希望し、日程があったため、参加してくれた学生もいた。他施設と連携を図ることで、施設・地域を越えて活躍する法人ボランティアの養成ができると考えられる。
- ・「自然体験活動指導者」の科目は、青少年教育に関わるすべての成人にとって、有意義な科目となっているため、自然体験に関わらず、スポーツ・文化活動等、幅広く指導者の参加を呼びかける必要性がある。

国立那須甲子青少年自然の家【作成】事業推進係：宮崎一彰